

支部協だより

第109号

発行所
 NTT労組退職者の会
 沖縄県支部協議会
 沖縄県浦添市城間4-35-2
 TEL.098-870-7101
 FAX.098-875-7450
 責任者
 黒島善市

逆境にもめげず 希望の年にしよう

会長 黒島 善市



新玉の年を迎え、希望の年になりますようお祈り致します。

昨年末の総選挙は、自民党の予想以上の圧勝、与党民主党の歴史的敗北で終わりました。それは、民主党が「公約の多くを反故にし、官僚の軍門に降った」の一言に尽きる。今回の県内選挙区・比例区を含め当選した全員が、普天間基地は県外または国外と私たち県民に約束した。今後は、政権与党となる自公が、言葉ではなく、どう実行してくれるかだ。

政府は、投票日2日後の18日、辺野古アセス補正評価書を県に提出した。武田防衛局長は「普天間飛行場の固定化はあってはならない。辺野古移設が唯一の有効な解決策だ」として、私

たち沖縄に米軍基地を押し付けることを明言した。当選した自公議員の、中央と異なる普天間基地撤去に向けた本気度が問われる。

自公の連立政権が発足し、私たち高齢者を取り巻く環境も当然変わって行くであろう。社会保障制度の取り組みも仕切り直しとなる。もう一度原点に立ち返り、若い人たちにもあまり負担をかけず、お互いが希望の持てる社会を目指していきたいものだ。

今年は参議院選挙がある。NTT労組組織内候補「吉川さおり」さんの勝利を期し現退一致で頑張りましょう。

次期総理と目される自民党安倍総裁は昨年12月21日「普天間は地元理解を得て辺野古へ移設する」と記者会見で述べた。

沖縄県民の意向をまったく無視し、民主主義もへつ

たくれもない。

戦前回帰は何としても避けなければならぬ。そのためにも、私たちは一致団結して闘い、そして明るく楽しく元氣よく過ごしていきたい。県支部協も多くの会員が楽しめる行事などをやりたいと思っております。

役員一同頑張りますので、今年もどうぞよろしくご指導ご協力ください。

「私の一点」には二名の会員から応募がありました。ありがとうございます。

新年のごあいさつ



NTT労働組合 沖縄総支部
 執行委員長 砂川 安弘

退職者の会の皆様、明けましておめでとうございます。新年を、家族・親戚や友人・知人、そして、新しく家族の仲間入りした孫の顔を見ながら、「今年も元氣で頑張ろう」と決意した先輩方も多くいると思います。

1点目は、オスプレイの強行配備です。総支部は現退一致で、市民集会・県民集会等の抗議活動に参加するなど、粘り強い反対行動を取り組んでまいりましたが、

世界一危険な普天間基地に、欠陥機オスプレイが強行配備されました。衆議院選挙の結果と相俟って、更なる危険の押し付けが懸念されますが、粘り強く反対の取り組みを展開しなければなりません。

2点目は、衆議院選挙の結果についてです。自民党は、政権公約に憲法改正、国防軍の保持、集団的自衛権の行使など、極めて危険な公約を掲げて戦ったにも

かかわらず、圧勝し、民主党が惨敗するなど、予想を超えた残念な結果となりました。尖閣問題や、米軍基地を抱える沖縄県に影響が懸念されることから、普天間基地の早期閉鎖とオスプレイ配備撤回等とあわせた取り組みが重要です。

今年のNTT労組の最大目標は、NTT労組組織内候補「吉川さおり」再選に向けた取り組みです。

現役組合員の雇用確保や労働条件の維持・向上に大



私の一点 鳩・宮里幸吉 撮影

大きく影響のある「情報通信政策」は、国会の場で議論されます。退職者の会会員の熱い支持・協力により、私たちの代表である「吉川さおり」を国会へ送ることによってNTT労組の情報通信政策を反映させることが重要です。

最後に、退職者の会会員の皆様のご健康とご健勝をお祈りするとともに、現退一致の活動への参加を強く要請いたします。

「命の雫」裁判を 支援する会・ 沖縄、活動の今

副会長

渡嘉敷 直久

沖縄市高原出身の島袋英吉さん(当時20歳)が自衛隊北海道真駒内基地で、2006年11月格闘訓練中に投げ倒されて意識を失い、意識が戻らぬまま翌日死亡した。2009年11月、父親の勉さんはこの事件を「命の雫」として出版した。「命の雫」の中には、顔が腫れ上がり、内臓の損傷や骨折など全身に傷があり、医師から「脳が飛び出し



私の一点 ひまわり・霞本光弘 撮影

今、「命の雫」裁判は大事な時期を迎えて、私は共同代表の一人として署名活動・カンパ活動へのお力添えを訴えている。昨今でありませぬ。一人でも多くの方のお力添えをお願い致します。

てくるので開頭手術はできない」と説明を受けるなど、生々しい記述がある。格闘訓練という名の体罰で、殺人行為ではないかと憤りを覚える。
2010年8月、勉さん、律子さんの両親は国家賠償請求訴訟を「命の雫」(自衛官訓練中暴行死事件)裁判として裁判がスタート。
2013年4月21日、北海道、東京に続く沖縄市における「命の雫」裁判を支援する会・沖縄の結成総会には色々な方々が、県内、地域から170名を超す参加で力強くスタートし、私は共同代表の一人に就いた。
全国で自衛官の人権を守る裁判が進められているが、自衛官人権裁判全国集会の報告をまとめた「自衛隊員の人権は、いま」(浜松基地自衛官人権裁判を支える

会編)には、県平和・国民運動センターが裁判支援で活動を進めるにあたって、自衛隊と憲法九条との整合性で、激しく議論したことも述べられている。自衛官の人権についても当然守られなければならないし、自衛隊オンブズマン制度の導入で自衛官の権利を前進させて、団結権を獲得すべき考えも打ち出している。自衛官の訓練中暴行死事件の真相を明らかにし、自衛官の人権を守る為にも「命の雫」裁判に勝利し、自衛隊の自己保身、情報隠蔽の体質を変えていく力としたい。
裁判は、いよいよ2月1日の証人尋問で結審する。「命の雫」裁判を支援する会・沖縄は、この裁判傍聴にツアーを組むなど全力で取り組み、裁判勝利に向けて活動している。特に、北海道での裁判傍聴の高額な費用を少しでも軽減できれば、とカンパ活動も取り組むことにしている。

ただ今現役 昔と変わらぬ筋肉で



西原 正明 (72歳)

国道58号線沿いに建つ「安謝老人憩いの家」に西原正明さんを訪ねました。沖縄の12月にしては肌寒く厚着の私達の前に、Tシャツと短パンとカモシカの筋肉足、ハの字眉のあの笑顔で颯爽と現れてきました。

現在ここ憩いの家で月曜日と水曜日に卓球を楽しんでいて、児童会の卓球サークルでもコーチと共にボランティアで世話役を務めているそうです。丁度その日は2月の那覇市児童卓球大会に向けて新しいピンクのユニフォームを着用しての練習で、2年生から6年生まで個々のレベルに対応したサーブをして丁寧な相手をしていました。不公平ならぬよう手元にはタイマーが。優勝した時は子供達がお礼に寄せ書きの色紙をくれたそうです。宝物の1つと嬉しそうに見せてくれました。

少し超すようですが限度は心得ているそうで百葉の長を良き友として付き合っている様子でした。失礼を承知で年齢を感じる時がありますかと聞いたら、毎日が忙しいので感じる暇がないとの返事です。西原さんの健康生活は琉球新報の青春シニア欄でも紹介されました。最大の秘訣は楽しく継続することなのでしょう。



「会員の計報について」
謹んでご報告し、故人の
ご冥福をお祈りします。
名渡山兼業 (2012・10・28)
満95歳、那覇市在
垣花日出夫 (2012・11・9 没)
満67歳、沖縄市在

総会は各種報告と提案、決算報告が行われました。忘年会では食事、ビール飲み放題カラオケも競いあいながら楽しい時間を過ごしました。ただ女性の方の参加が少なかつたのが残念です。次回は多くの会員の皆様の参加を心より希望します。
今年度も会員の皆様にとりまして健康で良き年でありませぬよう心から祈念いたします。

北部地区協 第10回定期総会と忘年会

会長 比嘉 弘一

